

◇9月21日(月:祝)のごみ排出について◇

9月21日(月)は「敬老の日」で祝日となっています。

高城・椎木・川原・石河内地区の方におかれましては、21日(月)のごみ収集は行いませんので、お間違えのないようお願いいたします。

つきましては、**燃やせるごみ(青色ごみ袋)**は24日(木)に、**燃やせないごみ(赤色ごみ袋)**は、**翌週28日(月)に、ごみステーションに搬出して**ください。

◇◆狂犬病集団予防注射の実施について◆◇

次の日程で、令和2年度第2回目の狂犬病集団予防注射を行います。

令和2年度の集団予防注射は今回が最後となります。

犬を飼われている方は、狂犬病予防法により、年1回、飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせることになっています。 ※(狂犬病予防ワクチンの免疫持続期間は1年です。)

注) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、延期・中止となる場合があります。



日程	時 間	場 所	予防注射料金
9 月 5 日 【土】	9:00 ~ 9:20	木城町役場駐車場	<u>1頭：3,300円</u> 【毎年接種】 当日は、犬の登録も 行っています。 登録料金 1頭：3,000円 【生涯1回のみ】
	9:25 ~ 9:40	新岩戸公民館	
	9:50 ~ 10:10	川原公民館	
	10:20 ~ 10:40	岩渕公民館	
	10:45 ~ 11:05	中椎木公民館	
	11:10 ~ 11:25	出店公民館	
	11:30 ~ 11:50	中川原公民館	

新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下の『**ごみの捨て方**』に沿って、「**ごみに直接触れない**」「**ごみ袋はしっかりしばって封をする**」そして「**ごみを捨てた後は手を洗う**」ことを心がけましょう。

ごみの捨て方

①ごみ箱にごみ袋をかぶせます。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしばって封をしましょう。



②マスク等のごみに直接触れることがないようにしっかりとしばります。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



環境省

- 『ごみの捨て方』に沿っていただくことにより、ご家族だけでなく、皆様が出したごみを扱う市町村の職員や廃棄物処理業者の方にとっても、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症対策として有効です。
- ごみを捨てる際は自治体のルールに従うとともに、ポイ捨ては絶対にやめましょう。使用済みのマスク等のごみを捨てる際にも、『ごみの捨て方』を参考に、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことに注意しましょう。

○【飼い主の方へ】ペット動物の災害対策について

万が一災害が発生した場合には、飼い主の方はペットと同行避難することが基本となりますので、平常時から災害に備えるべき対策についての意識をもち、ペットの安全と健康を守るとともに、他の避難者の方への迷惑にならないよう努めていただくこととなります。

様々な人が共同生活を送る避難所においてペットを飼育する場合は、動物が苦手な人、アレルギーを持っている人等への特別の配慮が求められます。避難所におけるペットの存在が、人々にとってストレスやトラブルの原因となるかどうかは、飼い主自身の意識と平常時からの備えに左右されます。また、通常環境とは大きく異なる避難生活は、ペットにとっても大きなストレスとなる可能性があります。

平常時からペットの避難に必要な用具等を準備しておくことや、普段からしつけや健康管理をしっかりとしておくことで、そのストレスを軽減させることも可能ですので、ご協力をお願いします。



★平常時のしつけや健康管理★



しつけや健康管理の内容	犬	猫
・「待て」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけ	○	
・ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらない	○	○
・不必要に吠えない	○	
・人や他の動物を怖がったり、攻撃的にならない	○	○
・決められた場所（猫は猫用トイレ）での排泄	○	○
・狂犬病予防接種	○	
・各種ワクチン接種	○	○
・犬フィラリア症など寄生虫の予防、駆除	○	
・寄生虫の予防、駆除		○
・首輪に迷子札（犬は鑑札、狂犬病予防注射済票も）の装着	○	○



★ペット動物のために持ち出すものリスト★

【優先順位1】命や健康に関わるものは持ち出しやすい身近な所に置いておきましょう。

- 療法食、薬 □ 5日以上以上のフード、水 □ 食器
□ 予備の首輪、リード（伸びないもの） □ ガムテープ（ケージの補修など多用途に使用可能）

【優先順位2】飼い主や動物の情報を記録したものを用意しておきましょう。

- 飼い主の連絡先 □ 動物の写真 □ ワクチン接種状況 □ 既往症・健康状態
□ かかりつけの動物病院 など

【優先順位3】ペット用品は分かりやすいところにまとめておきましょう。

- ペットシート □ 排泄物の処理用具 □ タオル、ブラシ □ おもちゃ
□ 洗濯ネット（猫の場合） □ トイレ用品（猫の場合は使い慣れたトイレ砂） など

★普段のくらしの中での防災対策★

災害時にペットを守るためには、まず飼い主の方が無事であることが重要ですので、家具の固定等地震対策を行う必要がありますが、ペットが普段いる場所にも配慮することで、ペットの安全にもつながります。また、犬を屋外で飼育している場合は、飼育場所の周囲に破損や倒壊するおそれのあるものがないか確認しておくとともに、首輪や鎖が外れたり、切れたりして逃げ出すおそれがないか確認してください。

あわせて、日頃より、避難所や避難ルートを確認しておくことで、より安全に避難することができますので、ご確認をお願いします。

環境省のホームページでもペット動物の災害対策に関することやガイドラインが掲載してあります。

本紙の内容等に伴う問い合わせは役場町民課（電話：32-4736）までお願いします